

「地方公共団体の職場における能率向上に関する研究会」第10回議事概要

日 時：平成24年3月15日（木）16：15～18：00

場 所：総務省 8階 共用801会議室

出席者：（50音順、敬称略）

辻 琢也（座長）、鶴川 寿信、小室 淑恵、長谷川 定、林 賢、
古川 靖洋

<「地方公共団体の職場における能率向上に関する研究会報告書（案）」について>

※ 研究会事務局より本研究会の報告書の案について説明があった。以下はそれに関する意見等。

- 地方自治体の人事・給与制度は能力主義的に実施される方向に向かっていることをはっきりと記述してほしい。（長谷川委員）
- 褒賞制度のイメージが分かりづらいので、企業における具体例を入れてはどうか。（幹事）
- 第2章・第3章で議論した行政運営スタイル・ワークスタイルに関する議論は広範なものである一方、第4章の「10のワークプレイス改革の取組」は、その中で主として効率化に着目して議論したものであることを明確にすると繋がりが分かりやすいのではないか。（鶴川委員）
- 「変革」と「改革」が混在している印象。ワークスタイルについては「変革」、ワークプレイスについては「改革」と統一すると良い。（鶴川委員ほか）
- 職員の能力開発支援については、具体的なイメージを記載した方が良い。（鶴川委員）
- 報告書の概要を分かりやすくまとめた概要版を作成してほしい。（林委員）
- 図2は、第5章で論じる人事評価・職員の能力開発支援や変革の留意点についても加えてはどうか。また、「明確なビジョン」や「成果指向の行政運営」と「10の取組」の関連を示すような図としてほしい。（鶴川委員）
- 明確なビジョン等の下で望ましいワークスタイルがまずあり、それにワークプレイス改革が資することを表現するため、図の配置や構成を見直してはどうか。（古川委員）
- 報道発表資料は、興味を惹き記事にされやすいように工夫してほしい。（小室委員）